ニューヨーク補習授業校だより

絆・きずな

平成 30（2018）年
4 月 28 日発行
第 1 号



ご挨拶　　皆さんはじめまして！

平成 30（2018）年度、文部科学省派遣教員として派遣されました、片山　隆（校長）と坂口一成（教頭）です。どうぞよろしくお願い申し上げます。

アメリカに住んで、現地校で学び、土曜日だけ補習校に通うという選択をされた皆さん、そして保護者の皆様の、日本のカリキュラムによる授業への大きな期待を、この３週間で強く感じています。その責任の重さをかみしめながら、これからの学校運営に誠心誠意取り組んでまいりたいと思います。

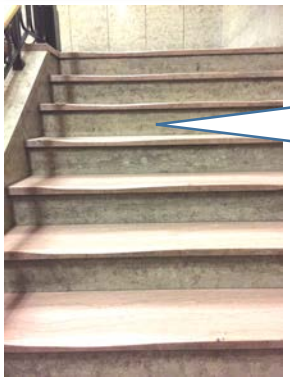
さて、今後補習校だよりを定期的に発行していきたいと思っています。子どもたちにも、保護者の皆様にも気軽に読んでいただけるような内容にしたいと思っています。そして、名前を「絆・きずな」としました。我々教職員一同と子どもたちとの絆、そして保護者の皆様との絆を深めるとともに、子ども同士あるいは保護者同士の絆も深まり、相互に信頼関係を構築できるようにしたいと考えて名付けました。お子さんにも読んでもらえる内容を心掛けますので、ご理解の程お願い申し上げます。

自己紹介をします。

職	校　長	教　頭
氏　名	片山（かたやま）　隆（たかし）	坂口（さかぐち）　一成（かずなり）
出身地	富山県高岡市	熊本県熊本市
前任校	シニア派遣（富山市立呉羽中学校）	熊本市立富合小学校
教　科	美術	道徳
家族構成	父、妻、長女（会社員）、長男（会社員）	妻、長女（大学4年）、長男（大学2年）、次女（高校1年）
趣味 特技	テニス・スキー・ゴルフ JAZZ鑑賞	ドライブ、美味しいものの食べ歩き、スポーツ観戦
ご挨拶	2001～3 年の間、セントラルケンタッキー日本人補習校（ケンタッキー州レキシントン市）に勤務していました。田舎だったので、ニューヨークの人と車の多さにはびっくりしています！ グローバル化による変化のスピードの速さにも柔軟に対応できる、「生きる力」を身に付けた子供の育成を目指し、「夢のふくらむ学校」づくりが私の教育テーマです。 どうかよろしくお願い申し上げます。	初めてのアメリカでの生活と仕事で、戸惑いながら毎日を送っています。補習校の子どもたちに出会った時、本当に恵まれた環境で生活をしていることを、羨ましく思いましたし、日本だけでなく世界の将来を担っていく子どもたちなのだと感じました。 その子どもたちの成長のために、先生方、そして保護者の方々と連携・協力しながら、私ができることを精一杯やっていくのみです。 どうぞよろしくお願いいたします。

ＬＩ校

　ＬＩ校が借用している Bay Side High School は、長年セキュリティを担当しているピーターによると、「１９３６年に建てられた歴史ある建物」だそうです。
　よく観察すると、確かに細部にはいろいろな装飾など凝った意匠の作りで、なかなか趣のある建物です。私が歴史を感じた場所を、紹介します。



　昇降口から３階の教室へ向かう石造りの階段です。長年の使用によって擦り減っているのが分かります。そしてピカピカになっています。



　立派な講堂ですね！明治から大正にかけて日本でもこのような雰囲気を持った疑似洋風建築の学校が立てられていました。



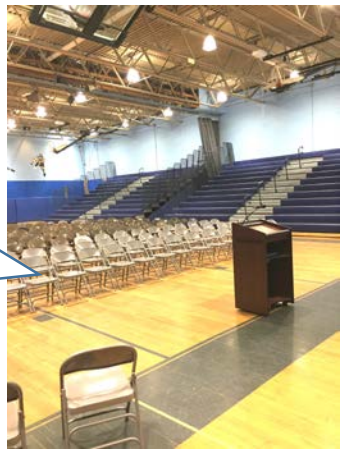
　座席の側面には、鋳物の精巧な彫刻が見られます。凝った意匠ですね。

W校

　W 校のある Port　Chester　Middle　School は、アメリカの一般的なつくりの校舎です。が、校舎内には、愛校心があふれています。



　W 校の外観は、変わったデザインだと思ったら、窓のひさしが落ちないように応急処置が施してあるそうです。



　今年の入学式、始業式は体育館で行われました。エイドさんやカストーディアンの皆さんが準備と後片付けをして下さいました。ありがとうございました。



　３階のサイエンスの教室の廊下には、生徒に興味関心を持ってもらおうと、様々な事象を分かりやすく紹介しています。

夢のふくらむ学校

**　ニューヨーク補習授業校に通う皆さん、保護者の皆様そして全ての関係者の皆様、今後ともよろしくお願い申し上げます。**



★Question
　さて、富山県と熊本県はどこにあるでしょうか？